

## 第4回奈良市都市計画マスタープラン策定委員会会議録

開催日時	平成26年3月28日（金）午前9時30分から午前11時30分まで	
開催場所	奈良市役所 中央棟 6階 正庁	
議 題	1 改訂 都市計画マスタープラン （地域別構想-地域の概況及び課題） 2 その他	
出席者	委 員	杉江会長、大窪副会長、井原委員、前迫委員、魚谷委員、岡田委員、尾崎委員、林委員【計8人出席】 （欠席：工藤委員）
	オブザーバー	藤田委員（地域Ⅳ）、青山委員（地域Ⅴ）、上野委員（地域Ⅵ）、中口委員（地域Ⅶ）、上田委員（地域Ⅷ）、植委員（地域Ⅸ）【計6人出席】（欠席：浦辻委員（地域Ⅰ）、新堂委員（地域Ⅱ）、辻澤委員（地域Ⅲ））
	事務局	津山副市長、東井都市整備部長、中澤都市計画室長、喜多課長、森本課長補佐、藤原係長ほか【計15人出席】
開催形態	公開（傍聴人0人）	
担当課	都市整備部都市計画課	

### 議事の内容

#### 1 地域別構想（地域の概況及び課題）

上記項目について、次の資料を基に、概要を事務局から説明。

- (1) 改訂 都市計画マスタープラン（地域別構想：地域の概況及び課題）【資料1】
- (2) 説明用パワーポイント【資料2】

#### 〔オブザーバーによる補足説明の要旨〕

会長 事務局からの説明は以上です。

オブザーバーの方から、地域別WSの内容、地域の特性、課題など特に付け加えるべき内容などがございましたら、3分程度でお話しいただきたいと思います。

藤田オブ  
(地域Ⅳ) 特にありません。

青山オブ  
(地域Ⅴ) 地域Ⅴについて、是非付け加えて、検討課題に入れるべきだと思いを申し上げます。  
当地区の人口密度は56.2人/ha(5,620人/km<sup>2</sup>)となっています。4,000人/km<sup>2</sup>以上が連担する地区は人口集中地区（DID）に指定され、その集積の比率が東京や大阪などの大都市では表示されています。  
人口集中地区では、しかるべき交通政策と環境がないとスラム化してし

まいます。

西大寺地区では、西大寺南土地改良工事、北側では第一種都市再開発事業が行われましたが、南は遅々として進まずまだ途上にあります。

土地の強制買収が難しく、市民が強く反対するとずっと事業が進まないという状況に陥ります。

北側も途中で一旦滞りましたが、賛成派が盛り上がり、一部の土地だけ改良されました。

一番の問題は開かずの踏切、南北の縦往来というものができていないことです。北側の開発事業が行われても問題点はずっと残る。

地域にもっと広い道路を通さなければいけない。そうしないとこのスラム化は避けられません。

そのためには県道谷田奈良線の拡幅、西大寺駅の南北の縦往来、開かずの踏切対策、これらをきちっと進めないとこの地域の豊かな自然、有機的な機能は発揮できないと思う。

これらを次のテーマ、課題の表現の中に反映できないか。

これだけ立派なマスタープランが策定されても、市長がこれをどう受け取り、どの施策を実際に進めていくか、計画に市長を奮起させるような文章が無いとのんびんだらりと時が過ぎるだけだと思います。

上野オブ  
(地域VI)

【資料 2】 P38 の人口の推移について、平成 12 年から微増と説明がありましたが、文章では「人口減少や高齢化の進展が課題」とあります。高齢化はわかりますが、人口減少がデータと一致しません。

平成 22 年以降の見通しは資料で示されていませんが、表現として「現在増加しているが将来的には人口減少の可能性はある」など、表現を工夫する必要があると思います。

【資料 2】 P41 の特性と課題の②に「東西の交通の利便性の向上が求められています」とあります。

【資料 2】 P40 のワークショップの結果では「東西の交通の利便性」はなく、「南北道路のアクセス」が挙げられています。

地域VIは、拠点が南北に分かれており、問題は東西ではなく南北の交通利便性だと思います。

地域づくりのテーマで、現行計画に「利便性の高い」が追加されていることは良いことですが、これを確実に実行して頂くためには「南北の利便性」が大きなポイントだと思います。大和中央道も途中で頓挫しています。

よって、【資料 2】 P41 は「東西の利便性」ではなく、「南北の利便性の向上が求められている」と変更する方が良いと思います。

中口オブ  
(地域Ⅶ) 開発によってできた地域Ⅶは、生活基盤は当初から整っているということで、アンケート調査の満足度が奈良市内で一番良いという結果となっているのかと思います。

ただ、地域Ⅶでは、開発から 30 年が経過し、当時 40～50 代の世代が現在 70 代以上となっており、その後継者（跡継ぎ）のほとんどが便利な大阪や京都に行ってしまう、見た目は住宅地として生活環境が良く見えるが、中味は次代を担う若い方が少なくなっているという問題がある。あと 10 年経つと高齢化率も 10 ポイント高くなってしまわないかと思われます。

「活力あるまち」テーマにあるが、どこに活力を求めるのか。住宅専用地がどのように活力を得ることができるのか。どのような方法が活力の源になるのかということが課題と思います。

地形的に高低差が激しい北部地域では、旧市街に比べて地形的な特性を活かした施策が必要でないかと感じています。

上田オブ  
(地域Ⅷ) 【資料 2】 P52 のワークショップ結果に月ヶ瀬温泉という言葉が入っていなかった。どこに入れるか分からなくて発言できなかったと思われます。特性と課題には入っているので有り難いと思います。

地域づくりのテーマとして「梅林」とともに豊かな時を刻む奈良の奥座敷」を提案していただき、イメージとしては有り難いことです。ただ、奥座敷となると、皆さん、細い道を山深く入っていったような場所とイメージされ、道が走り難く行き難い場所と思われる。

地域Ⅷでは、奈良市から 30～35 分位で行けるような道を整備して頂きたいことが私たちの願いであり、その辺りのイメージをご配慮頂ければ良いと思います。

植オブ  
(地域Ⅸ) 地域Ⅸは、平成 17 年に月ヶ瀬村と一緒に合併して 10 年近くなりますが、これといった施策もあまり感じません。

今度、東部山間地区の振興ということでアンケートが実施されます。このアンケート結果で地域振興がどの様に出てくるか分かりませんが、それも含めて考慮して頂けたらと思います。

地域Ⅸでは、名阪国道が通り、広域の交通利便性は良いと思いますが、生活拠点は地域内に点在しており、名阪国道へのアクセスなど生活道路の整備がなかなか進んでいません。

人口は減少し、将来どうなるか分かりませんが、若者が少なくなってきたおり、農業が敬遠されています。

市には働く場所の充実などを考えて頂いて、住みよいまちになる様にお願ひしたいと思います。

会長 地域ⅠとⅢの方が欠席のようですが、何か聞いていることはありますか。

事務局 特にありません。

**〔質疑・意見の要旨〕**

会長 地域別構想の事務局説明とオブザーバーの方々の補足、ご意見等を踏まえ、後半は委員の皆様のご意見を頂戴したいと思います。

前迫委員 課題に対する方針（施策）が次回ということで、もどかしい部分もありますが。

それぞれの地域をみると、大阪に近い地域Ⅵだけが人口微増であり、東の山間部Ⅰ、Ⅷ、Ⅸあたりは人口が10年間で2割程減少している。

そうした中で、住民がどの様に感じているのかをアンケート結果の散布図で見ると、やはり地域Ⅰで「総合的にみた地域の住みやすさ」の満足度が一番低くなっています。

山間部の方は、自然環境の良さを享受している一方で、地理・地勢的な条件などから、不便と感じておられる。

単に交通利便性を良くするのではなく、産業をどうするのか、どうやって経済的な効果を生み出し、住民に豊かさを感じてもらえるのかなど、そこまで踏み込まないと解決しない気がします。

問題は複合的に関連しています。

次回委員会で説明する際には、少し踏み込み、産業との関連性など、繋がりのある形で説明頂くと有り難いと思います。

副会長 将来的な地域相互の関係性も計画に反映されるようお願いします。

山を含む地域Ⅰ、Ⅲ、Ⅷ、Ⅸの地域では、道路に近い遠いなどによって状況は違い、また、交通の問題、中心地との連携などはどの地域でも挙げられているが、山間部では、災害時の孤立問題など課題も地域毎に特徴があります。アンケート結果ではこれら個別の課題が平均化されてしまうので、この辺りをどう評価するか、事務局で熟慮して頂きたいと思います。

道路では、全ての道路を整備することは困難だと思われませんが、軸となる幹線道路を整備し、その他の道路や公共交通などで補完するなど、総合的な交通施策にしなければいけないと思います。

地域Ⅱ、【資料2】P16のワークショップ結果では、安全・安心に関する厳しい意見が挙がっており、密集市街地も有する地域であるが、【資料2】P17の特性と課題では、安全・安心という表現がありません。何か意図があれば教えて頂きたい。

また、地域Ⅱのテーマ、【資料2】P18に「リゾート性」とありますが、現状にはそぐわない表現かもしれないと思われ、精査して頂きたいと思

います。

地域Ⅳ、【資料 2】 P28 では安全・安心の問題が指摘されているが、【資料 2】 P29 には安全・安心という表現がありません。

地域Ⅵ、【資料 2】 P40 に災害時の問題が指摘されているが、アンケートでは満足度が若干プラスになっています。これについて、考察があれば事務局の方に教えて頂きたいと思います。

事務局

「アンケート結果」「ワークショップ結果」と「特性と課題」の整合について、基本的に計画書【資料 1】では、個別の課題としてアンケート結果やワークショップ結果の意見を概ね網羅していると考えており、安全・安心についても、計画本体では記載しております。ただし、都市計画との関連性が低いものなどは、割愛しているものもあります。

また、計画書【資料 1】では、アンケート結果やワークショップ結果だけでなく、各種基礎データなど地域の現状を全般的に整理し、「特性と課題」を抽出しております。

なお、【資料 2】は委員会の説明資料であり、計画書からの抜粋や一部まとめた内容で整理しているため、全てのキーワードが【資料 2】に記載されているわけではありません。

副会長

地域Ⅴについて、【資料 2】 P34 のワークショップ結果では安全・安心に関する意見が何も出ていないが、【資料 2】 P35 の特性と課題には安全・安心という表現があります。これについて、ワークショップでどうだったのかをオブザーバーの方に教えて頂きたいと思います。

青山オブ  
(地域Ⅴ)

地域Ⅴでは、西大寺駅周辺の北と南で 2 つの都市計画（市街地整備）が決定されましたが、北は失敗、南は遅々として完成していません。密集市街地の問題を解決するためには、道路を整然とつける以外にないのです。

新しい道路を整備しろとは言いません。県道谷田奈良線の充実、駅を南北に貫く一条線と阪奈道路の結節、これらを進めるためには、近鉄線を地下化しなければいけない。

近鉄線の地下化は大きな問題ですから、一朝一夕とはいきませんが、荒井知事が立候補する際に、「平城宮跡国営化公園を是非完結させたい。そのためには近鉄線を南に移し、その延長線上で西大寺の駅を地下化したい」と言って当選されました。ところが当選したらそういうことは一切言われない。

先日、近鉄線を南に移すことについて、確か奈良新聞がアンケートを行いました。近鉄が平城宮跡のど真ん中を走っているのをどう思うかという問いに、「面白い」「移す必要はない」等ふざけた意見が多かった。

失望したのが、仲川市長が、「これは結構いける。面白い」と言い、インタビュー記事で「これで決定」と書いてあった。  
そんな不謹慎な事を言ってもらっては困ります。  
平城宮跡を国営公園にするのは国の事業であり、我々の悲願であり、これをテコにして奈良市を再開発しようと思っているわけじゃないですか。それをそんな不謹慎なことを言ってもらって困ります。  
まず、平城宮跡国営化公園構想を実現し、その余波を借りて近鉄線周辺をきれいにするのが大事だと思います。

副会長 ワークショップの中で、安全・安心に関する議論をされたのかどうか、もし御存知でしたら教えて頂きたいと思います。

青山オブ  
(地域Ⅴ) ワークショップの時には様々な意見が出て、ここには上がっていない不埒な意見もありますが、よくまとまっていると思います。  
西大寺地区は住宅密集地域です。従って、市民活動として防災・防犯への取り組みも各地で行っており、一つ一つ成功しています。  
消防の見地から、西大寺は住宅密集地域に指定されており、すぐにまちを改良しなければいけません。  
私は、まちをこの様に改良して下さいと、地域要望委員会で市長に提案しました。その時、都市計画課からの回答が非常につれないもので、第二種都市開発をするべきという提案に対し、緊急性が無いという一言で終わりです。こんな不謹慎な事では困ります。  
根は深い、深いけれど、放っておいたら駄目な地域です。  
西大寺地区を車で走ると、何とも言えない圧迫感を感じます。  
市長が着任された際に、車で地域を廻ってもらいました。市長は懸命にメモをとっておられましたが、具体的な動きは何もありません。  
駅前の人口集中地域に対する対策は行われていますが、それ以外の土地では何も手が加わっていない。こういうことを計画に書かなければいけないと思います。

井原委員 副会長が言われたデータと「特性と課題」との整合性に関して非常に気になっていました。  
都市計画は上位計画で、書けること、書けないないことがあり、課題に関してもいろんな観点があると思いますが、少なくとも今回、地域別構想として、アンケート、ワークショップにより住民の方の生の声を拾い上げたのならば、これら地域の生の声から見えてくる課題の傾向については客観的に整理して押さえておくのが大事だと思います。  
例えば地域Ⅱでは、アンケート結果をみると、特に北町を中心に安全・安心対策が必要だという意見が非常に出てきている。

どこに記述するかや特筆するかどうかはともかく、全く触れないのはおかしいと思います。

地域Ⅶに関する、いろいろな形でコミュニティが壊れてきているという課題が出ているにも関わらず、あまり触れられていない。

これらは、公園整備など都市計画とリンクしたり、地域の満足度とも関係してくると思います。

他の地域と同様の書き方、一律の書き方をするのではなく、この地域ならではの特徴を挙げるべきだと思います。

月ヶ瀬梅林が日本で最初に指定された名勝とするのなら、奈良公園も日本で最初の名勝なので、【資料1】P71ではこれを記載した方が良いと思います。

岡田委員 計画では、同じ傾向のものをまとめて、詳細は課題としないのかもしれませんが、ワークショップで各地域の個別結果はある程度計画に反映されなければいけないと思います。

高齢者問題、防犯、歩行者の安全が全て「安全・安心な生活環境」という表現でまとめられていますが、それ以外にも地域によって個々の課題は出ているので、加えておくべきではないかと思います。

例えばスポーツレクリエーション施設とか、子供の遊び場がないとか、北部地域であったコミュニティにおける特有の問題など、そういうことはもう一つ課題として付け加えておく必要があると思います。

これらがいつか実現された際には、地域の方の満足度に繋がっていくと思うので、どこの地域をみても同じものとなるのではなく、固有のものについては拾い出して欲しいと思います。

林委員 地区の話聞かせて頂いて大変参考になりました。

ワークショップを開かれて地域の生の声を聞かれたら、やはりそれを反映させるべきだと思います。

地域づくりのテーマについて、現行計画から短くまとめて書かれていますが、これは本当に必要なのかという気がします。

地域の特性と課題にまとめられたらどうか。これによって地域が決めつけられてしまうのではないかと心配です。あまり意味が無いように思いました。

魚谷委員 ワークショップの重要性を非常に感じており、本日欠席されている地域ⅠからⅢの方の意見も等しく重要だと思うので、何らかの形でこの場に報告とか、代理の方が出席するなどして頂けたら有り難いと思います。奈良市中心部の商店街で起業化支援を行っており、私もまちづくり会社でいろいろ協力させてもらっています。

奈良で起業したい人を東京で募集し、Uターン、Iターンをして頂く企画を2年しています。それにより、東京から帰って来て奈良で起業される方が数名おられます。

中心市街地での起業というのは当然ですが、それ以外の地域、例えば都祁地域では、若い人が帰って来て農業を営み、そこにまた新しい次の世代の人が集まってきたりしている。

北部地域を外から見ると、子供を育てたり、様々な住環境が整った場所であるとして、次の拠点として帰って来たということも聞いています。こういった、外からの客観的な意見も大切にしながら、地域の意見をしっかりと汲み取り、全体的に進めていければ良いと感じました。

尾崎委員 地域の方から出た意見を全て取り上げると膨大なものとなり、都市計画として、どこから手を付けて良いのか分からなくなるのではと心配しています。

奈良市の方向性として、観光が一つの大きなテーマとしました。

観光の中に産業政策があり、産業立地をどう考えるかで計画の方向性が変わってくると思います。

その辺りがはっきりしないと、どういう意見を言って良いのか分かりません。

大きな方向性から地域を考えるのか、地域からの意見を集約して全体構想をまとめるのか、両方だとは思いますが、その辺りの整合性をしっかりとって頂きたいと思います。

暗峠について、これは国道ですが、遅々として整備が進みません。これを国に整備してもらうことを考えても良いのではないのでしょうか。

この道が整備されれば、三条線まで東西が繋がります。

そうすれば、西ノ京と学園前など相互依存ができるのではないのでしょうか。

西部の生涯センターもここにあり、色々な展開も考えていく必要もあります。

大風呂敷を広げて漠然と全てを捉えるのではなく、財政基盤等も考慮し、具体的にできることを明確にした方が良いのではないかと思います。

会長 地域の特性と課題が一緒になっている。特性は特性、課題は課題と分けて次は示して頂きたい。

ワークショップ結果は、地域の意見をそのまま吸い上げた具体的な問題です。

地区によって問題は様々なので、全て取り上げたら大変です。そこから地域の主要なものを抽出することが大切です。

アンケートの結果は平均的なものになります。そこから、地域毎の特性



を汲み上げ、計画を作成することが大事だと思います。  
都市計画マスタープランは、短期ではなく、中長期の計画です。中長期的な視点から夢を描きながら、地域が抱える問題も汲み上げ、計画を作成することが重要です。  
次回の委員会では、そこら辺がわかるように事務局案を出して頂き、それを以て議論したいと思います。  
では、時間なので閉会させていただきます。有難うございました。

事務局 最後に、次回以降、地域別構想策定の参考にして頂きたいと、市長の委託・政策集であります「NARA NEXT 4」を配らせて頂きます。  
「NARA NEXT 4」につきましては、仲川市長独自の市政運営の指針として示されたものですが、一部来年度予算の編成にも組み入れられています。  
今後数年間にわたり実効性の伴った、本市の地域発展のキーワードになる内容が数多く記載されておりますので、目を通して頂きたいと考えております。  
また、事務局の考える地域像にも重なるものであるということもご理解下さるようお願い申し上げます。  
委員の皆様には長時間にわたりまして熱心にご議論頂き、また大変貴重なご意見を頂きまして有難うございました。  
また、オブザーバーの皆様にもお住まいの地域の貴重なご意見を頂きまして有難うございました。  
本日のご意見は、次回の委員会までに十分検討させて頂き、ご報告させて頂きます。  
次回委員会は5月以降に開催を予定しています。  
内容につきましては、冒頭にご説明致しました全体構想の進捗状況によりご案内させて頂くこととなりますが、地域別構想については引き続き9地域毎の将来像、9地域毎の地域別の方針についてご審議頂きます。  
委員の皆様には改めて日程を調整させて頂きご連絡させて頂きます。  
これをもちまして第4回奈良市都市計画マスタープラン策定委員会を終了させて頂きます。有難うございました。

資料	【資料1】改訂 都市計画マスタープラン (地域別構想：地域の概況及び課題) 【資料2】説明用パワーポイント
----	---